

川崎市洪水ハザードマップ 中原区版



「意識と準備が命を守る！」

洪水ハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨によって河川が氾濫した場合の、洪水浸水想定区域や避難場所を示したものです。



我が家の防災メモ

ハザードマップを使って我が家の防災メモを完成させましょう！！

自宅の災害リスク

●地図を確認して、該当するところに○印を記入しましょう

	浸水無し	0.5m 未満	0.5~3.0m 未満	3.0~5.0m 未満	5.0~10.0m 未満	10.0~20.0m 未満
洪水(多摩川水系)						
洪水(鶴見川水系)						
土砂災害警戒区域						

※多摩川においては、鶴見川水系による浸水は想定されていません。

避難方法

●「状況に応じた避難行動」を確認し、避難方法を確認しましょう

- ＜洪水からの避難＞ 屋内待機 立ち退き避難 垂直避難
- ＜がけ崩れからの避難＞ 屋内待機 垂直避難 水平避難

避難場所と避難経路

●避難方法が決まったら、避難場所と避難経路を確認しましょう

＜避難場所1＞
【】

＜避難場所2＞
【】

＜避難場所3＞
【】

※避難場所と避難経路はそれぞれ複数決め、必要に応じて地図に書き込みましょう

非常持出品

●非常持出品の保管場所は、家族のみんなで共有しましょう

【】

みんなの約束

●家族やご近所での約束事を記入しましょう

＜家族の約束事＞
【】

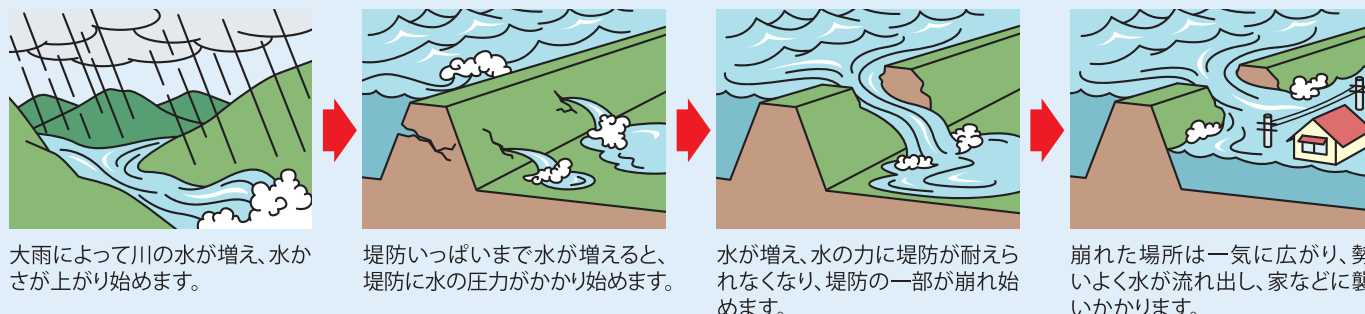
＜ご近所での約束事＞
【】

※避難に援護が必要な方など地域で協力しましょう

洪水から身を守る

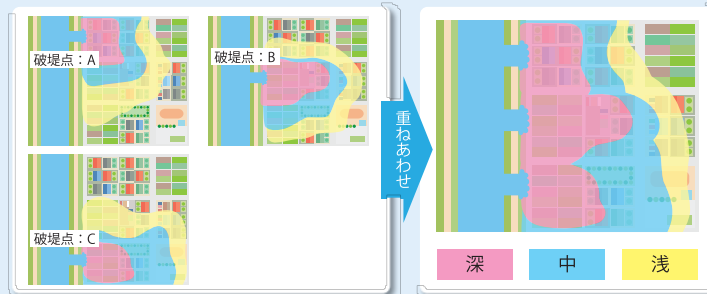
洪水発生メカニズム

●洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を超えるなどして起こります。



洪水浸水想定区域の考え方

- すべての破壊点(堤防が決壊すると想定したところ)について、どう氾濫し浸水するかを予想します。
- すべての予想結果を重ね合わせ、最大の区域と深さを表示しています。
- 実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がり、徐々に深くなります。



都市型水害について知る

●大規模な洪水以外にも、都市は舗装された道路や宅地が多く、降った雨は地中に浸透しにくいため、川や水路、下水道に一気に集まります。そのため、次のような危険がありますので注意しましょう。

- ＜低地の冠水＞
 - ・低地や道路のアンダーパス^{※1}では冠水が起こり、車が立ち往生し水没する危険があるため、通らないでください。
- ＜地下への浸水＞
 - ・地下が浸水すると、
 - ① 水圧でドアが開かない
 - ② 一気に水が流れ込む
 - ③ 外の様子が見えず逃げ遅れる
 など、命に関わる危険があるため、早めの避難が必要です。
- ＜中小河川の増水氾濫＞
 - ・都市の河川は、急に増水し、流れが速くなり、氾濫するおそれがあります。
 - ・誤って転落しないよう、大雨のときは近づかないでください。
 - （過去の浸水）
 - ・過去に浸水があった所は、大雨のとき、ふたたび浸水するおそれがあります。事前に確認し、避難する際はこのような所は避けましょう。
 - ・過去の浸水(浸水実績)については、川崎市防災情報ポータルサイトから確認できます。



※1. アンダーパスとは立体交差で掘り下げ式になっている道路のことです。

洪水からの避難

- 洪水の危険が迫った際には、川崎市から対象の地域に避難を呼びかけます。
- お住まいの環境によって、適切な避難行動に違いがありますので、右ページの判断フローを参考に、ご自身の避難行動や避難先をあらかじめ検討しておきましょう。

雨の降り方と災害発生との関係

1時間所積	状況	災害発生時のリスク
10~20ミリ	○ザーザーと降る	○この程度の雨でも長く続くときは注意が必要
20~30ミリ	○どしゃ降り ○車のワイパーを速くしても前方が見づらい	○側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる
30~50ミリ	○バケツをひっくり返したように降る ○車での高速走行時に、ブレーキが効きにくくなる	○がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要
50~80ミリ	○滝のようにゴーゴーと降り続く ○これ以上、車の運転は危険	○都市部では地下街等に雨水が流れ込む ○マンホールから水が噴出する ○土砂災害が起こりやすい
80ミリ以上	○息苦しくなるような圧迫感がある ○恐怖を感じる	○雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

※雨の降り方が強くない場合でも、長時間、広い範囲で雨が降る場合は、洪水の危険が増加します。

がけ崩れから身を守る

土砂災害警戒区域

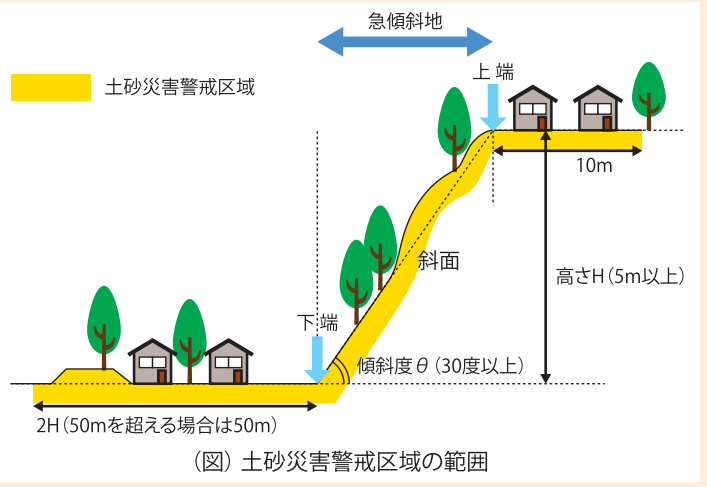
●土砂災害防止法(平成13年施行)に基づき、土砂災害への注意が必要な区域として、一定規模を超える斜面及びこれに接する区域を、神奈川県知事が「土砂災害警戒区域」に指定しました。

注：区域に指定されることと避難、がけ崩れの危険性を示しているというわけではありません。

【指定基準：急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)】

- ① 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- ② 急傾斜地の下端から水平距離が10m以内の区域
- ③ 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍以内の区域(50mを超える場合は50m)

※川崎市対象となる斜面が存在しないため、区域の指定は行われておりません。



※土砂災害警戒区域の詳細は神奈川県及び川崎市HPに掲載しています。神奈川県 土砂災害情報ポータル 川崎市 土砂災害ハザードマップ

急傾斜地崩壊危険区域

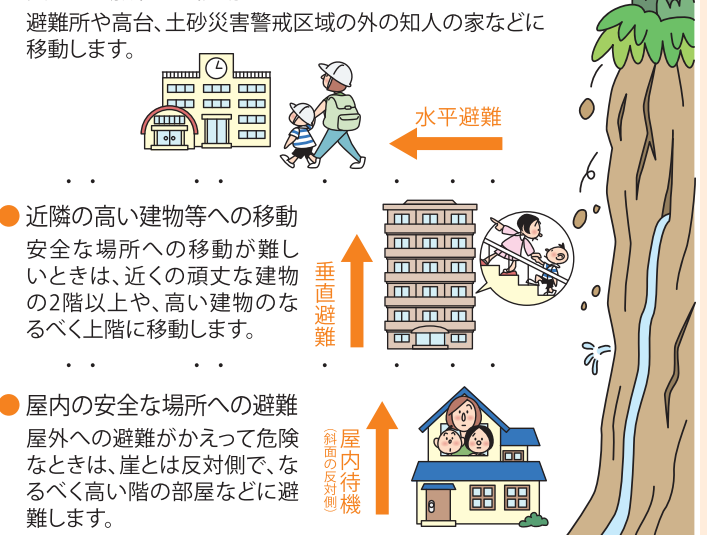
●急傾斜地崩壊危険区域とは、がけ崩れにより相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地と、がけ崩れが助長・誘発されないようにするため、切土、盛土など一定の行為を制限する必要がある土地で、市民からの要望により神奈川県知事が指定した区域です。

がけ崩れからの避難

- 土砂災害警戒区域の中にいるときに、避難に関する情報が発せられたときには、ただちに安全を確保することが必要です。
- このとき、天候やご自身の状況により、柔軟に行動を変えることができるよう、次の方法を参考に、適切な避難場所の確保などの準備しておくことが大切です。

状況に応じた避難行動

- 安全な場所への移動
避難所や高台、土砂災害警戒区域の外の知人の家などに移動します。
- 近隣の高い建物等への移動
安全な場所への移動が難しいときは、近くの頑丈な建物の2階以上や、高い建物のなるべく上階に移動します。
- 屋内の安全な場所への避難
屋外への避難ができて危険なときは、壁とは反対側で、なるべく低い部屋の壁などに避難します。



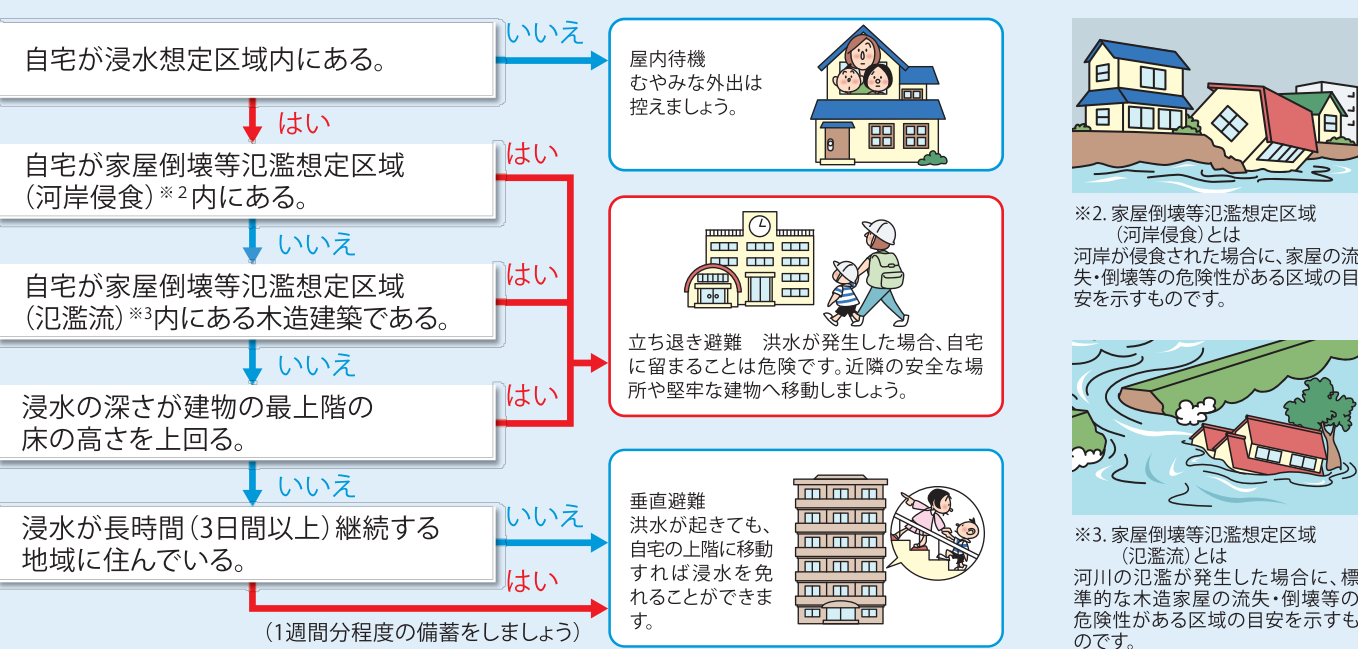
避難に関する情報

- 避難準備・高齢者等避難開始
お年寄りや身体の不自由な方など、避難に時間を要する方は避難を開始してください。その方は避難の準備を整えてください。
- 避難勧告
災害発生が予想される地域の方に避難を始めるものです。
- 避難指示(緊急)
対象地域の方は、ただちに避難してください。

水位に関する情報

水位	川崎市の対応
氾濫の発生	避難指示(緊急)を発令します。
氾濫危険水位	避難勧告を発令します。
避難判断水位	避難準備・高齢者等避難開始を発令します。
氾濫注意水位	水位情報を注視し、災害に備えます。
水防団待機水位	水位情報を注視し、災害に備えます。

状況に応じた避難行動



- ＜屋外に避難するときの注意点＞
 - ・動きやすい服装を心がけ、靴はヒモで締められる運動靴を履くようにする。
 - ・※長靴は足を取られるため危険です。
 - ・避難所に向かう途中で身の危険を感じた場合は、避難所に限らず近くの安全な場所や建物に一時的に避難をする。
 - ・非常持出品(飲料水、食料、貴重品など)は、リュックサックなどに入れ、両手を使えるようにする。
 - ・やむを得ず浸水している場所を移動する場合は備え、杖などを用意する。
 - ・※浸水している場所は、蓋の開いたマンホールや水路、側溝などへの転落の恐れ等があり、足元の安全確保が必要です。
- ＜助け合い(共助)＞
 - ・近くにお住まいの高齢者、障害者、妊婦、乳幼児、外国人、または旅行者など一人で避難することが難しい方がいます。ご近所からご近所でコミュニケーションをとり、避難の際は、近隣の方々と声をかけあい協力しながら避難しましょう。

日頃の備え

家庭備蓄の充実

●災害時には、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、出来れば7日間、自宅でご過ごせる用意をしましょう。

- ＜飲料水＞
 - ・飲料水は1人1日3リットル必要です。
 - ・ペットボトルなどで、家族全員分、用意しておきましょう。
- ＜食料＞
 - ・お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものをなるべく多く用意しておきましょう。
 - ・普段の生活の中で十分に買い置きし、賞味期限が来る前に消費しながら定期的に買い足すことで、無理なく備蓄ができます。(＝ローリングストック)
- ＜その他＞
 - ・カセットコンロ(ボンベも忘れずに)、簡易トイレ(汚物処理袋)などを用意しておきましょう。

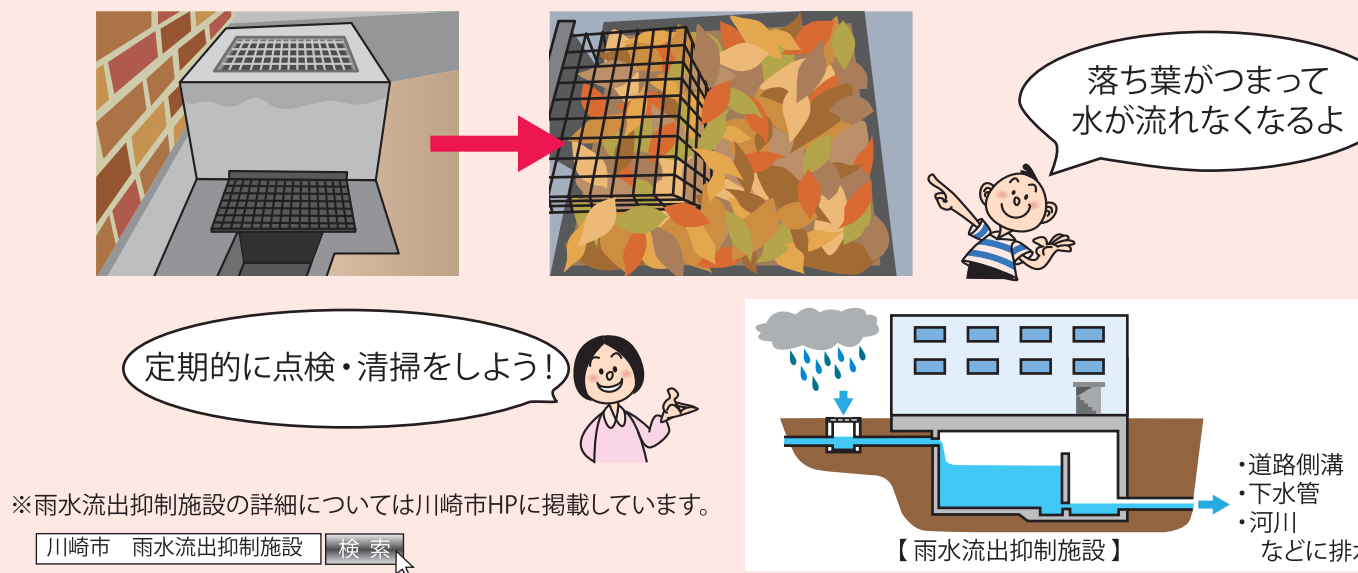
非常持出品チェックリスト

水・食料	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 携行食・非常食 <input type="checkbox"/> ビスケット・缶詰など
医療・衛生	<input type="checkbox"/> 服用している薬 <input type="checkbox"/> 救急医療品 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・口腔ケア用品 <input type="checkbox"/> 防護マスク
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証・預金通帳 <input type="checkbox"/> コピー可
安全対策	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 厚底の靴 <input type="checkbox"/> 軍手
道具類	<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> 携帯カイロ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ライター・マッチ <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> ナイフ <input type="checkbox"/> 入れ歯・眼鏡など
衣類	<input type="checkbox"/> 上着(防寒着)・下着・靴下 <input type="checkbox"/> 携帯レインコート
生活用品	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・ティッシュ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ゴミ袋・ポリ袋

※上記はあくまでも一例です。各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。

施設内排水設備の定期的な点検

- 「雨水流出抑制施設」は大雨の時に雨水を一時貯留して下流へ少しずつ流す重要な施設です。落ち葉や土砂が詰まると水を排水できなくなるため、普段から点検しておきましょう。
- 排水溝や道路側溝も路面排水を適切に行うための役割を担っています。



※雨水流出抑制施設の詳細については川崎市HPに掲載しています。

ハザードマップの使い方

- 自宅を見つけましょう
自宅に洪水が来ることや、がけ崩れが起こる可能性を確認しましょう。
- 避難する場所を確認しましょう
洪水や土砂災害からの避難方法を確認しましょう。立ち退き避難が必要な場合は、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどして災害時に備えましょう。
- 安全な避難経路を決めましょう
大雨の時に危険となる水路や橋、アンダーパス、浸水の危険性がある箇所や土砂災害警戒区域などの場所を確認し、避難経路を複数決めましょう。
- 実際に避難経路を歩いてみましょう
家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直しましょう。
- 家族で災害時の対応を話し合みましょう
大雨の際の行動について、家族と話し合い、災害時の約束事を決めましょう。
- 我が家の防災メモを完成させましょう

風水害時に役立つ情報

- 川崎市防災情報ポータルサイト(川崎市ホームページから)
- 市内の災害に関する緊急情報、被害情報、避難情報などを掲載します。
- 日頃からの備えや、川崎市の防災計画なども紹介しています。
- 外出時の防災対策についてまとめた携帯版の「備える。かわさき」ポータルを紹介しています。
- 過去10年間の浸水実績を公開しています。
- かわさき防災アプリ
- 川崎市の公式アプリのサービス「かわさき防災アプリ」では、災害時の緊急情報や避難情報などをプッシュ通知で受けられるほか、最寄りの避難所や各種ハザードマップを見ることができます。
- メールニュースかわさき
- 川崎市から、市内の防災、気象、災害等の情報をメールでお知らせします。
- 配信を希望する方は右記のメールアドレス(携帯電話・スマートフォン用URL)宛に空メールを送信してください。
- 防災行政無線・防災テレホンサービス
- 防災行政無線とは、屋外にあるスピーカーから、市民の皆様へ避難情報や防災気象情報をお知らせするものです。
- 防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます(通常時は啓発放送が流れます)。0120-910-174(通話料なし)県内の一般加入電話、公衆電話及び一部のI P 電話から044-245-8870(通話料あり)携帯電話、P.H.S、県外の一般加入電話・公衆電話から
- 国土交通省 京浜河川事務所 河川の防災ページ
- 川の様子に関するリアルタイム情報
- カメラ画像や水位・雨量等の情報を、国土交通省・神奈川県・川崎市等のHPで見ることができます。
- その他
- 気象庁ホームページで警報・注意発表の予測を見ることができます。
- ツイッター(アカウント kawasaki_bousai)、緊急速報メール、地上デジタル放送、ケーブルテレビ、かわさきFM(79.1MHz)でも、情報を発信します。
- お問い合わせ先
- 緊急連絡先

避難に関すること	総務企画局危機管理室	044-200-3682	警察署
洪水浸水想定区域等に関すること	中原区役所危機管理担当	044-744-3141	110
土砂災害警戒区域等に関すること	建設緑政局道路河川整備部河川課	044-200-2902	消防署
	まちづくり局指導部地域企画指導課	044-200-3035	119